

『多いし、不思議な睡眠病～ レストレスレッグズ
(むずむず脚) 症候群は「むずむず」だけではない!～』

レストレスレッグズ(むずむず脚)症候群は糖尿病などの内科疾患との合併も多い。本症候群は高頻度に見られるので、ちょっと知っておくと、明日からの臨床にすぐに役立つ治療法なども解説したい。



**第53回日本糖尿病学会年次学術集会
ランチョンセミナー 52**

多いし、不思議な睡眠病

「レストレスレッグズ(むずむず脚)症候群は「むずむず」だけではない!」

日時 平成22年 5月 29日 土
12:00～12:50

会場 第16会場 ラヴィール岡山 5F
[シャンティの間]
〒700-0024 岡山市北区駅元町1-10

座長 小泉 順二 先生
金沢大学附属病院総合診療部 教授

演者 堀口 淳 先生
島根大学医学部精神医学講座 教授

共催 第53回日本糖尿病学会年次学術集会
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

多いし、不思議な睡眠病

～レストレスレッグズ(むずむず脚)症候群は「むずむず」だけではない～

レストレスレッグズ(むずむず脚)症候群は糖尿病などの内科疾患との合併も多い。本症候群は高頻度に見られるので、ちょっと知っておくと、明日からの臨床にすぐに役立つ治療法なども解説したい。

島根大学医学部精神医学講座 教授 堀口 淳

不眠患者はいきなり精神科には受診しない。大抵は内科など、一般科を訪れる。患者が一言「眠れません」を主訴に来院した場合、すぐに安易に睡眠薬などによる薬物療法を行ってはならない。そうはいても一般診療で主治医があまりに神経質になってもいけない。ただし本講演で取り上げるむずむず脚症候群は、比較的頻度の高い睡眠障害の一つであるから、不眠を訴える患者を診たら、「夜、床に入って眠くなるころに、こむらや足がむずむずしたり、ほてったり、なんだかいやな感覚がして、寝付きにくく、足を動かしたり、歩くと、この感覚がなくなりますか?」と、必ず一言問診すべきである。30秒で済む問診である。本症候群のおおよその診断が、それだけでつく。硬く書けば(次号現代精神医学事典、堀口執筆中)以下のごとくである。

むずむず脚症候群はレストレスレッグズ症候群あるいは下肢静止不能症候群と同義である。Willis T (1685)が初めて記載し、Ekbom KA (1945)がrestless legs syndromeという名称を提唱した。「むずむず感」に代表される下肢の異常感覚(虫が這うような、火照り、痛みなど)が、主に就床時や安静静座時に発現し、入眠困難を中心とした不眠が生じる。睡眠障害国際分類第2版ICSD (2005)では、睡眠関連運動障害Sleep Related Movement Disordersの範疇に分類されているが、IRLSSG (International Restless Legs Syndrome Study Group)の作成による診断基準が臨床応用される場合が多い。すなわち、患者はこの異常感覚のために、足を動かしたくてたまらず(urge to movement)、じっとしていると悪化し(worse at rest)、この感覚は足の運動によって軽減・消失(motor relief)、夕方から夜間に出現ないし悪化する(worse at night)する。一般人口における有病率は、人種差や年齢差、性差が指摘されている。主に欧米諸国での住民調査では5～10%程度とアジア諸国より高頻度で女性や高齢者に多いとされるが、小児例の報告もある。本症候群は腎不全や糖尿病、鉄欠乏性貧血などの様々な身体疾患に併発する「症候性(二次性)」と「特発性」との2つに分類される。病態は不明であるが、脳内の鉄欠乏やドーパミン神経系の機能障害が指摘されている。また家族性など遺伝的要因の関与や、睡眠時周期性四肢運動が高率に合併することも知られている。薬物治療では、欧米ではドーパミン作動薬が第1選択薬とされている。

堀口 淳 先生 略歴

1979年 3月	福島県立医科大学卒業
1986年 5月	愛媛大学医学部神経精神医学教室・講師
1991年 1月	愛媛大学保健管理センター・助教授
1996年 4月	広島大学医学部神経精神医学・助教授
1999年 9月	島根医科大学精神医学教室・教授
2003年10月	島根大学医学部精神医学講座 教授 現在に至る

■所属学会

日本老年精神医学会・理事	日本総合病院精神医学会・評議員	日本脳科学会・評議員
日本神経精神医学会・理事	日本老年社会科学会・評議員	日本認知症ケア学会・世話人
日本サイコロセラピー学会・理事	日本睡眠学会・評議員	日本統合失調症学会・評議員
日本社会精神医学会・理事	日本アルコール精神医学会・評議員	日本精神科診断学会・評議員
日本精神神経学会・評議員	日本サイコロロジー学会・世話人	日本生物学的精神医学会・評議員ほか
日本臨床薬理学会・評議員	日本精神科救急学会・評議員	

会場案内図



岡山駅 山陽本線岡山駅より
徒歩 **3分**

山陽自動車道 岡山ICより
車で **15分**